

# 内水面漁業振興対策事業

西山 嘉乃・河口 真弓・森川 太郎

当県ではヤマメ、ニジマス、ニシキゴイ、スッポン等の内水面養殖が営まれている。養殖にあたっては、疾病対策と食品としての安全性を確保することが重要であり、適正な養殖場環境の維持、魚病の発生防止と被害の軽減、養殖生産物の食品衛生上の安全確保が重要である。当センターでは、内水面養殖業者が衛生管理や疾病対応を適正に実施できるよう、内水面漁業振興対策事業を実施した。

## 内容および結果

業務は農林水産省消費・安全局の消費・安全対策交付金実施要領に定められたガイドラインに基づき実施した。

### 1. 総合推進会議の開催等

養殖衛生管理体制整備を推進するために必要な会議や説明会に出席し、情報収集を行った。なお、佐賀県内水面魚類防疫会議については、内水面養殖業者（以下、養殖業者）数の減少に伴い、今後は防疫会議の開催によらずとも、養殖業者へ個別対応ができる状況であると判断し、今年度をもって終了することとした。

**表1** 全国養殖衛生管理推進会議

開催時期	参加方法	主な内容
3月6日	web	・ 魚病被害調査結果について ・ 水産防疫対策要綱の改正について ・ 着地検査の運用について

**表2** 水産防疫に関する説明会

開催時期	参加方法	主な内容
8月1日	web	・ 甲殻類疾病に関するサーベイランス調査について ・ 着地検査方針の見直しの方向性について

### 2. 養殖衛生管理指導

養殖業者に対し、養殖衛生管理指導を推進するため、水産用医薬品等の適正使用のための指導、および適正な養殖衛生管理のための指導を行った（実施時期：4～3月）。

#### 1) 抗菌剤の慎重な使用に係る指導體制の強化

養殖水産分野における抗菌剤の慎重な使用（治療効果を上げるために必要最小限な投薬をいう）に関する講習会に出席し、情報収集を行った。

**表3** 水産用医薬品薬事監視講習会

開催日	参加方法	主な内容
10月29日	web	・ 医薬品の流通における規制について ・ 水産用医薬品に関する規制について ・ 抗菌剤の適正使用の推進について ・ 魚病対策の取組等について

### 2) 養殖衛生管理技術普及・啓発

養殖衛生管理技術の向上・推進を図るための当該技術に関する研修会に参加した。

**表4** 水産分野における薬剤耐性に関する技術研修会

開催時期	参加方法	主な内容
12月18日	対面	・ 細菌分離の手法について
12月19日		・ Disk法、微量液体希釈法について ・ 薬剤耐性菌に関することについて

### 3. 養殖場の調査・監視

養殖生産物の安全性の確保を図るため、養殖業者に対し、水産用医薬品等の使用状況調査、医薬品残留検査を実施した。医薬品残留検査の結果は陰性であった。

**表5** 水産用医薬品等の使用状況調査

実施時期	調査対象	主な内容
4月～7月	水産用医薬品 その他の薬剤	養殖業者へのアンケート調査

**表6** 医薬品残留検査

実施時期	調査対象	主な内容
8月	スッポン	食品衛生検査キット（プレミテスト）を用いた、微生物学的方法による残留抗生物質のスクリーニング検査

### 4. 疾病の発生予防・まん延防止

#### 1) 疾病の監視・疾病発生対策

魚病の発生・伝搬の防止、魚病被害の軽減を図るため、養殖水産動物の疾病検査・調査の実施、養殖場の疾病監視及び養殖業者に対する疾病の防疫指導を行った（実施時期：4月～3月）。魚病検査の実施状況は以下のとおりであった。

**表7** 魚病検査の実施状況

実施時期	対象種	病名
1月	ニジマス	ピブリオ病、せつそう病